

平成27年度



赤木っ子だより

平成28年3月23日 No.40 文責 校長 橋本 忠秋

《教育目標》

『豊かな心と自ら学ぶ力をそ
なえた、たくましい児童の育成』
あ 明るく元気な子ども
か 考えて行動する子ども
ぎ 気力ある子ども

「55名の卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。」

みんなに祝福されて巣立つ55名のみなさん、ご卒業おめでとうございます。この一年間は最上級生として常に下級生の先頭に立ち、思いやりの心をもってリードしました。そのお陰で、各種学校行事を始め様々な取り組みができたばかりでなく、素晴らしい成果を上げることができました。卒業生のみなさん、ありがとうございました。新年度になって、4月6日には全員が郡山第二中学校または郡山第五中学校に入学します。両校とも文武両道の立派な中学校です。赤木小学校で学んだことを誇りとして、中学校生活を実りある充実したものにすると思います。「夢あるところに目標あり、目標あるところに計画あり、計画あるところに努力あり、努力あるところに夢叶う」の気持ちで1日1日を大切に、勉強に部活動に頑張っていくことでしょう。

一卒業証書授与式を前に、みんなで力を合わせて会場を作りました①一

16日(水)に体育館の耐震化工事で新しく張り替えられた床に、全職員で真新しいシートを全面に敷き詰めました。15日には教室のワックス塗り、18日には廊下や階段のワックス塗りを同じく全職員で行いました。ワックスをかける前には、全校生が床をぬらしたぞうきんできれいに磨きました。

授与式前日の22日(火)には5年生児童と全職員が、そしてPTAの方々もおいでになり、手分けをして会場等の準備作業に取りかかりました。卒業生が入退場し卒業証書を手にするときに通る所に赤いカーペットを敷き詰め、その両脇に彩りきれいな鉢花を等間隔に丁寧に並べました。元PTAと現PTAの皆様により心のこもった生け花が生けられ、来賓席・職員席、卒業生教室、校長室、玄関などに飾られました。また、玄関や昇降口には、鈴木主任用務員が昨年9月に種を蒔いて半年間丹精込めて育てたプリムラマラコイの鉢花やパンジーとデイジーの植えられたプランタが、前週から卒業する子ども達の門出を祝うために、子ども達が気持ちよく1年を締めくくることができるようにと置かれました。さらに、卒業生に真っ白いプリムラマラコイが一鉢ずつ贈られました。ミニプレートには「自分色の花を咲かせてください。」の文字が・・・。

作業にあたった5年生は、やりがいを感じて生き生きと働いていました。4月から最高学年になる自覚の高まりがうれしいです。

武田PTA会長様を始めとする役員の方さま、保護者の方さま、地域の方さま、関係機関の方さま、一年間本当にお世話になりました。お陰さまで、子ども達も私たちもたくさん頑張ることができ、大きな成果を残すことができました。4月から始まります新年度も今年度同様に、ご支援ご協力をくださいますようよろしくお願い致します。
(教職員一同)

一卒業証書授与式を前に、みんなで力を合わせて会場を作りました②



3月17日(木)に同窓会入会式

赤木小学校の開校以来、現在までの同窓生数は、9,641名です。今年の卒業生55名が加わり、同窓生は9,696名になりました。同窓会役員の皆さまが4名おいでくださり、後輩の子ども達に力強いメッセージを伝えてくださいました。

「母校の誇りを胸に、中学校や高校、そしてその先で困難にぶつかってもたくましく乗り越え、社会に役立つ人に、地域で、日本で、世界で活躍する人になってほしいと・・・。」「幸せを呼び寄せるには感謝の心を持ち、「ありがとう」や「感謝します」と伝えることが大切・・・。」また、小学校時代の懐かしい話なども聞かせてくださいました。

開会の言葉を室井さん、閉会の言葉を鈴木君が行い、誓いの言葉を代表して菅野君がノー原稿で述べました。

交通安全母の会によります月曜日朝と交通安全運動期間中の安全見守り、1年間ありがとうございました。延べ1,000名を超える方々がご協力くださいました。また、子ども見守り隊とパトロール隊の皆さまの登下校の見守りに感謝申し上げます。お陰さまで交通事故や不審者による事件・事故はありませんでした。

平成27年度の「赤木っ子だより」は、本号を持ちまして最終とします。子ども達の様子や教育活動などを少しでも多く伝え、理解を深めていただこうと発行してまいりました。写真は白黒印刷でわかりにくかったと思いますが、お許しください。どうもありがとうございました。
(校長 橋本)